

親子に科学の面白さ伝授

ハピテラス 福井大附属生徒が企画

実験や生き物観察通し



中学生に当たる福井大附属義務教育学校の後期「徒たちが企画した「科学

福井大附属義務教育学校の科学部フェスタで、来場した子どもたちに紙工作を教える生徒たち。20日、福井市のハピテラスの屋根付き広場ハピテラス

所属。1日に大学施設内で初めてフェスタを開き、保護者ら約80人が来場した。一方で準備不足の反省点も多く、生徒たちから「地域の人に楽しんでもらえるイベントに再度挑戦したい」と声が上がリ、急ぎ第2弾のフェスタが決まった。

「出張科学部水族館」は、生徒や卒業生が学校近くで捕まえたスッポンやドジョウ、ザリガニなどを水槽で展示。科学ショーでは、水が一瞬で氷に変化する化学現象を披露した。ものづくりコーナーでは、生徒たちが紙飛行機や「ぶんぶん(ごま)の作り方を子どもたちに教えた。

恐竜について学んだ生徒たちがガイドとなり、福井駅西口に設置されている動く恐竜コミュニケーションを案内するユニークなツアーも行われた。

今回のフェスタをもって9年生は部を引退する。同部キャプテンを務めた9年生の山村悠曇さんは「入部当初はそれほど活発に活動していなかった科学部を盛り上げ、地域に開いたイベントが

「出」で振り返った。(高島健)